

長総大付 初優勝

決勝で神村学園に3-1



【男子決勝、長崎総合科学大付―神村学園】前半19分、長総大付のFW西原（右）がシュートを決めて同点に追い付く
 〓佐賀県総合運動場陸上競技場

エース不在に発奮

サッカーの第38回九州高校新人大会第3日、最終日は12、13日、佐賀市の佐賀県総合運動場陸上競技場などで準々決勝から決勝までが行われ、長崎総合科学大付が決勝で

エースの不在を力に変えた長崎総合科学大付が初優勝。小嶺監督は「県大会も勝つと思わなかったメンバー。たいしたもん。立派」。成長しながら頂点をつかんだ選手たちを手放しでほめた。

FW安藤をU-18（18歳以下）日本代表のスペイン遠征で欠いた。だが、これでチームは「（安藤）瑞季がいないと勝てないと言われたくない」と発奮した。

準決勝で公式戦初スタメンながら決勝点を挙げたFW西原が、決勝でも輝いた。0-1の前半19分、相手D

神村学園（鹿児島）を3-1で破り、初優勝した。県勢の優勝は第28回大会の国見以来10年ぶり。両校はサンックス杯国際ユース大会（3月16、19日・福岡県宗像市）の出場権を獲得した。長崎南山は準々決勝で大津（熊本）に0-2で敗れた。

長総大付は準々決勝で熊本国府に終了間際、MF田中のゴールで1-1に追い付き、PK戦で勝利。準決勝はFW西原が

△決勝トーナメント
 △準々決勝
 長崎総科学 1 (0-1) 0 熊本国府
 大付 (PK4-3)
 △得点者【長】田中【熊】井山
 長崎総科学 2 (1-0) 0 長崎南山
 △得点者【大】上田、松原
 △得点者【大】上田、松原
 △得点者【長】西原、荒木、中村【神】山路

〓本真関係
 △準決勝
 長崎総科学 1 (0-0) 0 東福岡大付
 △得点者【長】西原
 △決勝
 長崎総科学 3 (2-0) 1 神村学園
 大付 (1-0) 1 鹿兒島

FW荒木がゴールを決めて逆転。後半3分にはFW中村が3点目を挙げてW中村が3点目を挙げて快勝した。
 （丸田理恵）

FW西原 1得点 1アシスト

Fのミス逃さず、ボールを奪ってゴール前へ。使ってくれた小嶺先生の気持ちに応えたい。落ち着いて相手をかわし、左脚を振り抜いて同点ゴール。その1分後にはFW荒木の逆転弾を

若い力

アシストした。過去の神村学園戦の苦い経験もチームの集中力を切らさない糧となった。昨年9月のプリンスリーグで、先制された後に失点を重ね

て6-6のドロ。決勝も開始4分に失点したが、主将のMF田中が「大崩れしないよう声掛けを意識した」と試合後に振り返ったように、選手同士で指示を出し合い、足を止めることはなかった。

冬の全国高校選手権からメンバーの半数が入れ替わった新チームが、しっかりと結果を残した。ただ、目標に掲げる全国制覇への道は始まったばかり。小嶺監督は「各自、持ち味と課題が見つかった。選手が試合のビデオを見てどう感じるか」と先を見据えた。
 （丸田理恵）